氏　　名	小原直将	専　攻	社会学
		指導教授	立石裕二
研 究 領 域	科学社会学　災害社会学　環境社会学		
研 究 題 目	災害復興に関わる「災害専門家」が直面する専門知と生活知の「視点のずれ」の研究		
所 属 学 会	科学社会学会　災害復興学会　環境社会学会		
学　　歴 （学部入学から）	・2019/04 東北大学文学部　入学 ・2023/03 東北大学文学部　卒業 ・2023/04 関西学院大学社会学研究科博士課程前期課程　入学 ・2025/03 関西学院大学社会学研究科博士課程前期課程　修了 ・2025/04 関西学院大学社会学研究科博士課程後期課程　入学		
教　　歴 担当授業科目	・2024 年度春学期　関西学院大学社会学部 TA（担当科目：社会学入門） ・2024 年度秋学期　関西学院大学社会学部 TA（担当科目：社会学入門）		

研　　究　　業　　績

著書、論文、翻訳、研究報告等題名	発 表 年 月	掲載誌または発表場所	備　　考
【書評論文】 小原直将 「『作動中』の科学的知識をどう扱うのか――ALPS 処理水の海洋放出問題を考える」 （書評論文：藤垣裕子、『専門知と公共性』東京大学出版会、2003）.	2024	『KG 社会学批評』13: 17-29	学内査読あり
【共同研究班報告】 三木毬菜・小原直将・徳永健人・雪定弦生・水野景子 「フューチャー・デザインの社会学・社会心理学への応用可能性を検討する」	2024	『KG 社会学批評』、13: 81-84	査読なし
【研究発表（口頭）】 小原直将 「復興まちづくりの議論において『放射線』はいかなる存在か―福島県双葉郡双葉町の原発事故後の復興まちづくりの科学社会学的分析」	2024 年 3 月	東日本大震災・原発事故第 2 回福島学術研究集会	
小原直将 「復興まちづくりの議論で放射線はどう捉えられていたのか」	2024 年 9 月	科学社会学会第 13 回年次大会	
阿部晃成・菅磨志保・小原直将・野村俊介・坪井塑太郎・三鴨昂将・入江早亮 「能登半島地震における集落自治の可能性と課題」	2024 年 11 月	日本災害復興学会大会 2024 長岡大会	
小原直将			

「原発事故後のまちづくりにおいてどこに住民が参加できたのか―双葉町の復興まちづくり計画（第一次）における住民関与の分析」 三鴨昂将・入江早亮・小原直将・野村俊介・松原久・菅磨志保	2025 年 3 月	東日本大震災･原発事故第 3 回福島学術研究集会	
「域外避難から見た集落自治の可能性と課題―令和 6 年能登半島地震における輪島市の事例（2)」 小原直将	2025 年 3 月	第 11 回震災問題研究交流会	
「住民参加の伴う原発事故後のまちづくりの議論の課題―『双葉町復興まちづくり委員会（平成 24 年度～25 年度)』の決定可能性の分析」	2025 年 6 月（予定）	第 71 回環境社会学会大会	